無断転載・無断利用禁止

獨協大学
DOKKYO UNIVERSITY

国際関係法学科	教授	岡垣　知子	大学院の授業担当有

教育活動

教育実践上の主な業績		年月日	概要
1　教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）			
1	学生の関心を高める工夫		出欠をとる目的も兼ねた質問票や小テストを授業のはじめに配布し、前回の講義テーマ、もしくは当日の講義テーマに即した質問や問題に回答させることによって、講義へのスムーズな導入を図る。
2	授業理解度を高める工夫		毎回の講義に先だって、講義内容のアウトラインや参考資料をポータルサイトで配布する。外書購読を含む講義では、対象となる読解資料にかかわる学習のポイントを質問形式で事前に配布し、それらへの回答を準備して授業に臨ませる。
3	自主学習意欲を高める工夫		受講人数が多い場合であってもできる限り、自分の関心テーマについて調べた内容をクラスで発表する機会を持たせる。
4	講義・ゼミ参加者としての社会性を高める工夫		講義やゼミの参加者として仲間と切磋琢磨し、授業に貢献することに重きを置く。人前で効果的に発表する技術や、人の話を聞く態度、同僚の発表を建設的に評価する仕方についても、講義やゼミという一つの社会的な場におけるマナーとして心がけるよう、学生に促す。
2　作成した教科書、教材、参考書			
1	『国際政治の基礎理論』青山社	2021年1月	国際政治学の初学者に、基礎概念や理論を体系的に紹介する。
2	『国際政治の理論』（ケネス・ウォルツ著；翻訳）	2010年	国際政治学を学ぶ上で必読のケネス・ウォルツの著作Theory of International Politics(1979)の邦訳。
3	『人間・国家・戦争』（ケネス・ウォルツ著；翻訳）	2013年	国際政治学に「分析のレベル」という概念を導入した巨匠ケネス・ウォルツの著作、Man, the State, and War (1959)の邦訳。
4	*The Logic of Conformity: Japan's Entry into International Society.* University of Toronto Press	2013年	19世紀末、ヨーロッパ中心の国際社会に非欧米の日本がなぜ速やかに参入できたのかを政治学の観点から分析。
3　教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
1	"Warping in the Global Diffusion of IR Theories: Comparison of the Japanese and German IR Communities," at the annual meeting of the Japan Association for International Relations	2019年10月	「知の創造」や「科学」よりも「実用」が重視される明治以来の日本の教育伝統の中で発展したのは、学問としての政治学よりも行政学であった。国際政治は本来、政治のエッセンスが最も顕著に表れる領域であるが、日本の国際政治学においては学際性や実践が強調されがちで、理論研究は敬遠される傾向が強い。
2	"Mission Unaccomplished: the Roles of Universities in Meeting the Regional Challenges in Asia"(Presentation at the panel "Asia's New Order and Universities" at the 11th Jeju Forum for Peace and Prosperity on the theme of "Asia's New Order and Cooperative Leadership").	2016年5月	国際社会に遅れて参入したアジア諸国では、急速に近代化を遂げる必要から、近代国家建設のための実学が重んじられる伝統が存在してきた。グローバリゼーションが深化する今日ではとりわけ、社会から大学に対して実践的情報や実務的貢献が要請される傾向が強い。しかし、マックス・ヴェーバーが『職業としての学問』の中で述べているように、価値中立の立場から科学的「知」を生産する大学本来の役割が忘れ去られてはならない。
4　その他教育活動上特記すべき事項			

学会等および社会における主な活動（学外の委員、役職等）

年月日	活動内容
2024年～2025年	オックスフォード大学政治国際関係学部客員研究員（英国）
2018年9月～2019年8月	ハーバード大学ウェザーヘッド・スカラーズ・プログラム客員研究員(米国)
2015年～2017年	イオン・ワンパーセントクラブ企画委員
2015年、2016年、2017年、2019年、2022年、2023年	高円宮杯全日本中学校弁論大会審査委員

更新日　2024/3/5

無断転載・無断利用禁止

獨協大学
DOKKYO UNIVERSITY

国際関係法学科	教授	岡垣　知子	大学院の授業担当有
2014年10月～11月	パリ第一大学地理学研究所招待教授(フランス)		
2014年9月～2015年3月	国立東洋言語文化大学客員研究員(フランス)		
2013年～2014年	外務省補助金事業：日本国際フォーラム2013年度研究プロジェクト 「価値観外交を基軸とした日本外交の活性化」研究委員		
1988年～	日本国際政治学会会員		
2007年～2009年、2012年～2014年	同学会　研究企画委員		
2011年～2012年	同学会　書評委員		
2014年～2017年	同学会　制度設計タスクフォース委員		
2016年～2019年	同学会　英文ジャーナル(International Relations of the Asia-Pacific) 編集委員		
2011年	国際交流基金グローバル・パートナーシップ・センター主催アメリカ若手リーダー視察プログラム、アカデミック・アドヴァイザー		
2011年～2022年	Tokyo Toastmasters Club (会長：2020年～2021年)		
2010年～2014年	表参道バイリンガルトーストマスターズクラブ(教育担当副会長：2012年～2013年；会長：2013年～2014年)		
2016年～	Bonjour Toastmasters Club(会長：2022年～2023年)		
2008年～2011年	国際安全保障学会編『国際安全保障』編集委員		
2009年9月～2010年8月	ハーバード大学ライシャワー日本研究所　客員研究員(アメリカ)		
2008年4月～2010年3月	安倍フェロー		
2008年～2010年	国際関係学会(International Studies Association)		
2007年9月～2008年8月	ハーバード大学ウェザーヘッド国際研究所　日米関係プログラム　アカデミック・アソシエイト(アメリカ)		
2006年	国際政治学会 International Political Science Association		
1999年9月～	アメリカ政治学会 American Political Science Association　会員		

その他